

歯科保健指導(含訪問歯科保健指導)

講 師	森 結 花 中尾亜希子	実施時期 単 位 数	第1学年前・後期 3単位 (120時間)	実務経験	○
一般目標 (GIO)	健康と疾病の概念を理解し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進するために、プロフェッショナルケア・セルフケア・コミュニティケアの基本となる知識、技術および態度を習得する。				
授 業 概 要	歯科保健指導は人々の生活習慣や態度を望ましい歯科保健行動に変容させるために専門的立場から支援することである。第1学年では、様々な対象者に科学的根拠をもって対応できるよう歯科保健指導に関する基本的知識を身につけていく。				
学 習 方 法	講義、デモンストレーション、セミナー、グループディスカッション、基礎実習(相互実習を含む)				
成績評価の方法	記述試験(定期試験)をおおよそ70%とし、残り30%は実技試験、課題、レポート、授業態度、出席状況等を総合して評価する。				
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会(監)最新「歯科予防処置論・歯科保健指導論」第2版 医歯薬出版				
履修上の注意	歯科予防処置論、口腔衛生学と重複する内容もあるため、他科目の教科書や資料も参考にすること。本授業で配付した資料は必ず復習し、次の授業の準備として活用すること。 また、普段から幅広い知識や情報の収集を心掛け、同時にコミュニケーション能力、接遇作法、話法等も身につけて欲しい。				
参 考 書	①伊藤公一(編) 「新版 家族のための 歯と口の健康百科」 医歯薬出版 ②松田裕子(編) 「改訂 歯ブラシ事典」 学建書院 ③松田裕子(編) 「オーラルヘルスケア事典」 学建書院 ④全国歯科衛生士教育協議会(編) 「よくわかる歯科衛生過程」 医歯薬出版				

授業計画

No.	授業項目	到達目標 (SB0s)
1	歯科保健指導の概要 口腔の基礎知識	①歯科衛生士の法的な位置づけを説明できる。 ②歯科保健指導論の定義を説明できる。 ③健康の定義を説明できる。 ④口腔の構造と機能について列記できる。
2	う蝕と歯周病の基礎知識 (口腔内の付着物・沈着物) 学齢期の特徴	①口腔の付着物、沈着物を列挙できる。 ②プラークの成分や分類を列挙できる。 ③歯石の成分や分類を列挙できる。 ④学齢期の一般的特徴、口腔の特徴、望ましい歯科保健行動を説明できる。
3 4 5	歯科衛生アセスメントとしての情報収集と情報整理	①情報収集の目的や得られる情報を説明できる。 ②口腔内の観察項目とポイントを列記できる。(歯垢染色剤を含む) ③口腔清掃の指数を説明できる。 ④歯垢染色時の注意事項を説明できる。 ⑤プラーク指数(OHI-DI)を正確に算出できる。 ⑥口腔清掃状態について考察できる。
6 7 12	歯科衛生介入のための歯科保健指導 ①歯ブラシ ②歯磨剤 ③ブラッシング法 ④その他の清掃方法	①歯ブラシの種類と特徴を説明できる。 ②各種ブラッシング方法の特徴を説明できる。 ③各種ブラッシング方法を実施できる。 ④歯磨剤について説明できる。 ⑤フッ化物配合歯磨剤の特徴と使用方法を説明できる。 ⑥補助的清掃器具の種類と特徴、適応を説明できる。 ⑦各種補助的清掃器具を操作できる。
13	食生活指導のための基礎知識	①行動変容のステップを説明できる。 ②食生活・食習慣の背景を知り、現代における問題点を説明できる。 ③医療面接の目的を説明できる。
14	歯科衛生過程の進め方 ①概要	①歯科衛生過程の基本的な考え方を説明できる。 ②歯科衛生アセスメントについて説明できる。 ③歯科衛生診断について説明できる。 ④歯科衛生計画立案について説明できる。 ⑤歯科衛生介入について説明できる。 ⑥歯科衛生評価について説明できる。 ⑦歯科衛生過程における書面化(記録)について説明できる。
15 21	歯科衛生アセスメントとしての情報収集と情報整理(口腔内写真) ①正面観 ②咬合面観 ③側面観	①情報収集の目的や得られる情報収集を説明できる。 ②口腔内の観察項目とポイントを列挙できる。 ③画像からの情報収集を説明できる。 ④カメラの取り扱いを円滑に操作できる。 ⑤撮影した口腔内写真を評価できる。

No.	授業項目	到達目標 (SB0s)
22	実技試験(口腔内清掃法)	①指定されたブラッシング方法の適応を説明できる。 ②指定されたブラッシング方法に適した歯ブラシを選択できる。 ③指定されたブラッシング方法を顎模型上で実施できる。 ④指定されたブラッシング方法の操作方法を説明できる。 ⑤指定されたブラッシング方法の特徴や留意点を説明できる。
23	総合学習(前期まとめ)	①歯科保健指導の概要を説明できる。 ②口腔の基礎知識を説明できる。 ③口腔の付着物・沈着物を説明できる。 ④プラークの指数を算出できる。 ⑤口腔の清掃方法について説明できる。 ⑥歯科衛生過程の概要を説明できる。
24 ～ 28	歯科衛生過程の進め方 ①概要(復習) ②症例検討Ⅰ ③症例検討Ⅱ	①歯科衛生アセスメントについて説明できる。 ②歯科衛生診断について説明できる。 ③歯科衛生計画立案について説明できる。 ④歯科衛生介入について説明できる。 ⑤歯科衛生評価について説明できる。 ⑥歯科衛生過程における書面化(記録)について説明できる。 ⑦歯科衛生アセスメントを実施できる。 ⑧歯科衛生診断を実施できる。 ⑨歯科衛生過程における書面化(記録)を実施できる。 ⑩例題について討議できる。
29 ～ 31	ライフステージに対応した歯科衛生介入 健康教育・保健指導の技法(集団指導) ①学齢期の特徴 ②小学校ブラッシング指導準備	①集団指導法の特徴を列記できる。 ②集団指導における話の組み立て方を列記できる。 ③学齢期の特徴、望ましい歯科保健行動を説明できる。 ④臨地実習について討議できる。
32 ～ 33	歯科衛生アセスメントとしての情報収集と情報整理(口腔内写真) ①正面観 ②咬合面観	①情報収集の目的や得られる情報収集を説明できる。 ②口腔内の観察項目とポイントを列挙できる。 ③画像からの情報収集を説明できる。 ④カメラの取り扱いを円滑に操作できる。 ⑤撮影した口腔内写真を評価できる。
34 ～ 36	ライフステージに対応した歯科衛生介入 ①青年期の特徴 ②合同ブラッシング指導準備	①青年期の特徴、望ましい歯科保健行動を説明できる。 ②青年期に合った食生活を説明できる。 ③合同ブラッシング指導の目的、内容を説明できる。 ④合同ブラッシング指導の内容に沿った計画を立てることができる。 ⑤合同ブラッシング指導について討議できる。
37	総合学習(復習)	①国家試験形式問題を解き訂正できる。
38	実技試験(補助清掃器具)	①指定された補助清掃器具を顎模型上で実施できる。 ②指定された補助清掃器具の操作方法を説明できる。 ③指定された補助清掃器具の特徴や留意点を説明できる。
39 ～ 41	歯科衛生アセスメントとしての情報収集と情報処理 ①粘膜観察 ②位相差顕微鏡	①舌・粘膜の正常な状態と異常な状態を観察できる。 ②位相差顕微鏡を円滑に操作できる。
42 ～ 44	合同ブラッシング指導準備(プレ実習) ①口腔内写真 ②ブラッシング指導 ③歯科衛生過程	①口腔内写真を評価できる。 ②歯科衛生診断を実施できる。 ③歯科衛生計画立案を実施できる。 ④歯科衛生過程における書面化(記録)を実施できる。
45 ～ 46	総合学習(口腔筋機能療法)	①正常な口腔周囲組織の動きを説明できる。 ②咀嚼・嚥下機能を列記できる。 ③筋機能訓練(MFT)について説明できる。 ④歯肉マッサージについて説明できる。 ⑤咀嚼チェックガムについて説明できる。
47	実技試験(口腔内写真撮影)	①カメラの取り扱いを円滑に操作できる。 ②アシスタントワークが円滑にできる。 ③患者役に配慮できる。
48 ～ 50	総合学習(セミナー) ①歯ブラシの処方 ②電動歯ブラシ ③歯肉マッサージ	①歯ブラシの「処方」について列記できる。 ②デンタルフロスを操作できる。 ③歯磨剤について説明できる。 ④セルフケアとプロフェッショナルケアについて列記できる。 ⑤電動歯ブラシについて説明できる。 ⑥歯肉マッサージを実施できる。
51 ～ 60	合同ブラッシング指導実習	①情報収集を実践できる。 ②歯科保健指導を実践できる。 ③口腔の基礎知識を指導できる。 ④症例発表用のスライドを作成できる。